

広報

うわじまちくしょうぼう

第58号

宇和島地区消防本部
宇和島地区防火協会
<http://www.119.uwajima.ehime.jp>

春の火災予防運動

三月一日～三月七日

全国統一防火標語

あなたです 火のあるくらしの 見はり役

火災が発生しやすい気候となる時季を迎え、三月一日から三月七日までの一週間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。
住宅火災での高齢者などの死者が全国的に増えていきます。住宅での防火安全対策のさらなる推進を図ることを目的として運動を展開します。

重点目標

- 住宅防火対策の推進
- 地域での防火安全体制の充実
- (災害発生時の避難協力体制の確立)
- 大勢の人が出入りする事業所などでの防火安全対策の徹底
- 乾燥・強風時の火災発生防止対策の推進(たき火などでの火気管理の徹底)



平成17年中の火災と救急の概況

火災

平成17年中に宇和島地区管内で発生した火災は、45件で、前年の52件に比べて7件の減少となりました。また、月平均の出火件数は3.75件となり、およそ8日間に1件の割合で火災が発生したことになります。

火災種別による出火件数は、建物火災が32件、林野火災が2件、車両火災が2件、その他火災が9件となり、依然として建物火災が群を抜いた状態で、全体の72%を占めています。

火災の損害額は、前年の1億28万円を下回り6,036万1千円となっています。

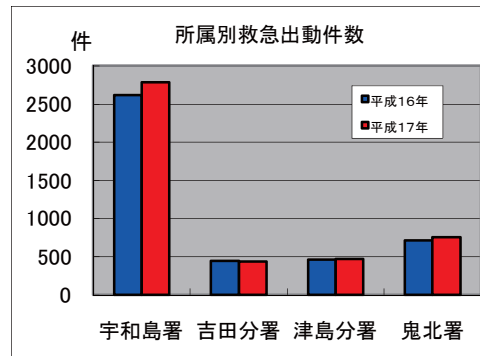
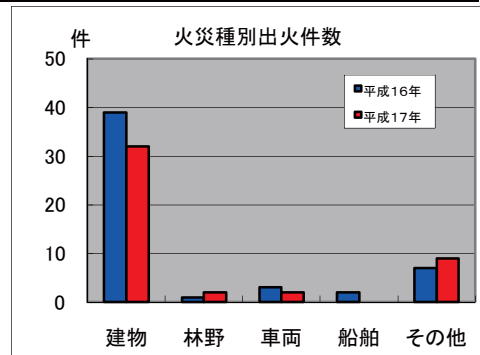
出火原因では、放火・放火の疑いが13件、こんろ5件、たき火5件、たばこ4件の順となっています。

救急

平成17年中に宇和島地区管内で救急出場した件数は、4,454件で前年に比べて205件増加し、搬送人員においても4,306人で184人の増加となっており、管内住民の約26人に1人を搬送したことになります。

年齢区分では、65歳以上の高齢者搬送率が全体の58.3%を占め、全国に比べて15.8%も高くなっています。

事故種別では多い順に、急病2,737件、一般負傷626件、転院搬送478件、交通事故441件となっています。



宇和島城防災訓練

平成十八年一月二十六日(木)

第五十二回「文化財防火デー」にあたり、宇和島市においても宇和島市地域防災計画に基づき、防災機関、民間協力団体及び地域住民が一体となって消火・避難・救急救護及び通信連絡等の訓練を実施して、防災体制の一層の充実強化、応急対策の向上を図るとともに、市民の防火意識の普及と高揚を図ることを目的として、宇和島城防災訓練が実施されました。参加機関は、宇和島市・宇和島市教育委員会・宇和島市消防団・宇和島地区婦人防火クラブ連合会・鶴島小学校・宇和島地区広域事務組合消防本部で、全員真剣に訓練に臨まれ、素晴らしい防災訓練になりました。

文化財防火デー 一月二十六日

昭和二十四年一月二十六日に、奈良県にある法隆寺金堂から出火した火災によって、世界的な至宝と言われた金堂の壁十二面に描かれた仏画の大半が焼損しました。
我が国の文化財建造物は大半が木造であり、美術工芸品も木、紙、布等燃えやすい材質により造られているものが多く、常に火災による焼損の危険にさらされています。
このような被害から文化財を守るため、昭和三十年から、消防庁と文化庁の共唱により、法隆寺金堂が焼損した日である一月二十六日を「文化財防火デー」と定めて、文化財建造物における防火運動を全国で展開しています。



つけて安心 わが家の防災 備えよう住宅用火災警報器

消防法及び宇和島地区広域事務組合火災予防条例が改正され、平成18年6月1日から新築の住宅、アパート等に住宅用火災警報器の設置が義務づけられます。（既存の住宅、アパート等は、平成23年6月1日から）



住宅用火災警報器について

住宅用火災警報器は、室内の煙や熱に反応して警報音を発する器具です。この器具を設置することにより、火災の発生をいち早く知ることができ、より早い避難・通報・初期消火が可能となります。住宅火災による死者の約7割が「逃げ遅れ」です。住宅火災警報器を設置することで、「逃げ遅れ」を防ぐ効果が見込まれます。

右の写真が住宅用火災警報器です。煙を感知するもので電池式と交流電源を使用するものがあります。



設置する場所は次のとおりです。

- ① 就寝の用に供する居室(普段就寝に使われている部屋)
 - ② 就寝の用に供する居室が2階にある場合は階段
- ※ その他の条件により廊下等に設置が義務づけられる場合がありますので、詳細については消防本部予防課(22-7501)にご確認ください。

悪質な訪問販売等に十分注意してください！

消火器と同様に悪質な訪問販売や点検をする者が出没する恐れがありますので、十分注意してください。

■悪質な例

消防職員に似たような服装で消防職員のふりをし、「今すぐ取り付けなければならない。」「この商品でなければならない。」など、内容を偽って強引に販売する。



防災とボランティア週間 1月15日～1月21日

- ◎1月16日(月) 「吉田公民館」
- ◎1月17日(火) 「フジ北宇和島店」
- ◎1月18日(水) 「津島やすらぎの里」
- ◎1月19日(木) 「道の駅みまコスモス館」「道の駅虹の森公園まつ」
- ◎1月20日(金) 「リッチ広見店」「道の駅日吉夢産地」

防災とボランティアの日
一月十七日

平成七年一月十七日に発生した「阪神・淡路大震災」を契機として、災害ボランティア活動の役割が再認識され、多くのボランティアが自主的な活動を展開し、その役割が大きくクローズアップされました。

平成七年十二月、政府・地方公共団体等防災関係機関をはじめ広く国民が災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的として「防災とボランティアの日」及び「防災とボランティア週間」が創設されました。

宇和島地区管内においても、防災とボランティア週間には梯子車搭乗体験・起震車による地震体験などのイベントを開催し、PRに努めました。